

基本計画の論点


①利用者像の明確化 ②機能・規模・財政負担のバランス

① アリーナは3つの需要を全て取り込むことができないため取捨選択が必要

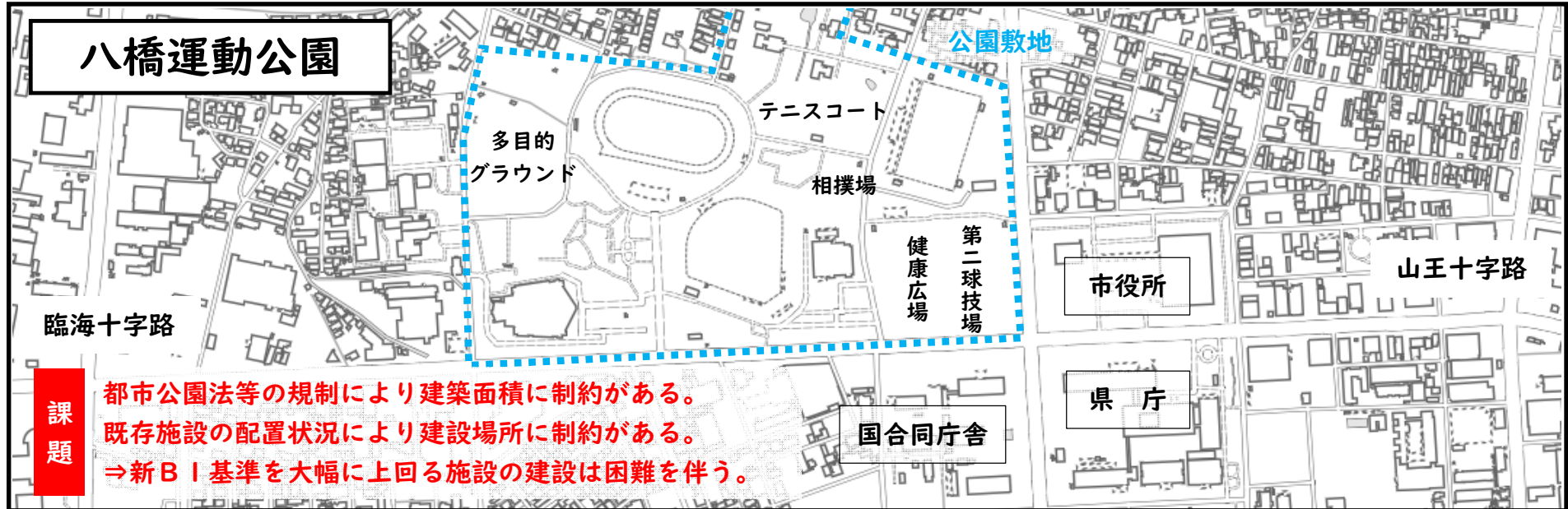
週末利用
は年間で
最大52回トップリーグ
30回程度~アマチュア大会
20回程度~コンサート
10回程度~

- ・アリーナコンサートは、7~8千席以上の施設が選定されやすい
- ・コンサート最優先での運営が求められ、他の催しは後回しとなる

② 機能・規模と財政負担（工事費）のバランスに配慮して施設整備計画を立案する必要

区分	延床面積の目安	機能の目安			概算工事費	期待される財源と県実質負担額 ※国庫補助等は除く	今後の検討の主な着眼点
		アリーナ棟	体育館棟				
		アリーナ	体育館	スポーツ医・科学			
A	~12,000㎡	~2面 ~5,000席	1面 観覧席無	体力測定室	~120億円	普通交付税(45%) 県負担~66億円	 規模に応じて 着眼点の変化 県財政への影響 建設場所 開館時期への影響
B	14,000㎡~	2面 5,000席~	1~2面 100席~	体力測定室(兼) トレーニング室	140億円~	普通交付税(45%) 県負担77億円~	
C	16,000㎡~	2面 5,000席~	2面 200席~	体力測定室 トレーニング室	160億円~	普通交付税(20%) 県負担128億円~	
D	20,000㎡~	2面 8,000席~	2面 200席~	体力測定室 トレーニング室	200億円~	普通交付税(20%) 県負担160億円~	

(注) 面数はバスケットボールコート(公式規格)、席数は目安、概算工事費は1,000千円/㎡で算出(事例調査等で800~1,200千円/㎡、物価上昇を見込まない概算額)



約2km

